

FUJI



夢見る人に次々と。

SHOJI

ヒト味違う

GROUP



“オモシロ”さ！



TOP INTERVIEW

厳しい経営環境にも柔軟に適応し、 ヒットタイトルの創出に向けて 全社を挙げて取り組んでまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社グループでは企業理念「お客様の繁栄を売ろう」のもと、パチンコホール様、ファンの皆様にご満足いただける商品やサービスを創り出すことを念頭に事業活動を推進しております。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響など業界環境は一段と厳しさを増しておりますが、ヒットタイトルの創出とともに経営体質のさらなる強化を図り、業績の確保に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

代表取締役社長 **井上 孝司**

上半期における各事業の状況と 業績についてご報告します

遊技機事業におきましては、徹底した市場ニーズの調査、お客様目線の追求による稼働力向上を最重点課題として商品力の向上に取り組んでまいりました。

パチンコ遊技機では当社グループの株式会社JFJから新システム「遊タイム」を搭載したホラータイトルの人気シリーズ機種として「Pリング 呪いの7日間2」、時代劇ヒットタイトルの続編機種として「P遠山の金さん2 遠山桜と華の密偵」を市場投入いたしました。「Pリング 呪いの7日間2」につきましてはパチンコホール様での稼働も好調に推移し、当社グループの主力タイトルとしての実績を残すことができたと考えております。

パチスロ遊技機では、6号機市場の低迷を受け厳しい市場環境が継続しておりますが、引き続き型式試験の適合機種確保によるラインナップの構築に努めてまいります。

また、デジタルコンテンツ(DC)事業におきましては、2020年後半のリリースに向けて第4弾スマートフォン向けゲームアプリの開発を進めてまいりましたが、昨今のゲームアプリ市場の情勢およびリリース後の収益見通しなどを慎重に検討した結果、ゲームアプリの開発を中止し、経営資源を遊技機事業に重点的に活用することといたしました。

上半期の業績につきましては、売上高66億17百万円(対前年同期比41.9%減)、営業損失33億73百万円(前年同期は営業損失13億19百万円)、経常損失33億32百万

円(前年同期は経常損失13億77百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失38億23百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12億66百万円)となりました。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの業績動向に対する影響に加えてパチンコホール様および遊技機業界の見通しなどの精査が必要なため未定としておりましたが、入手可能な情報および予測に基づいて算定のうえ、公表させていただきました。(詳細につきましては右記業績ハイライトをご参照ください)

下半期におきましても遊技機市場は厳しい環境が継続する見通しですが、新規大型タイトルとして11月からパチンコホール様に導入を開始しました「Pとある魔術の禁書目録」をはじめ、パチンコ遊技機を中心とした販売ラインナップで着実に実績を積み上げることで、販売台数を確保してまいります。

株主還元について

当期の中間配当金につきましては、継続した配当の基本方針に基づき、1株当たり25円とさせていただきます。この結果、2021年3月期の1株当たりの期末配当金は普通配当25円、年間配当金は中間配当金と合わせ50円とさせていただきます*。

今後とも、株主の皆様のご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

*本件は2021年6月開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

FINANCIAL HIGHLIGHTS

業績ハイライト



財務の詳細は当社ホームページの「投資家向け情報」をご覧ください。

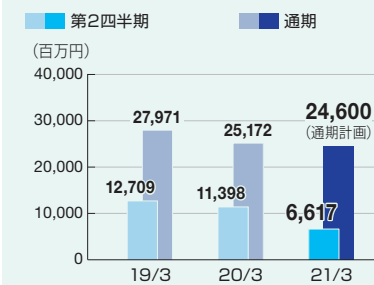
藤商事IR

検索

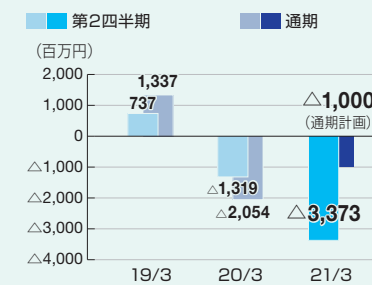
ポイント

2020年10月30日に通期連結業績予想を公表しました。
(各計画数値は下記を参照下さい)

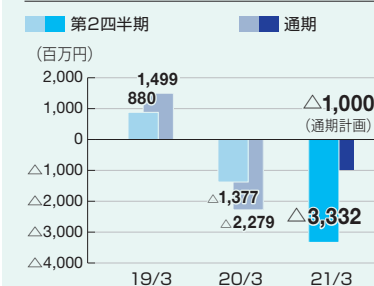
売上高



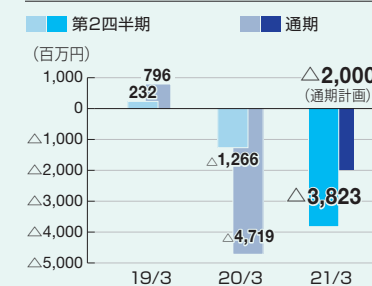
営業利益



経常利益



四半期(当期)純利益



*19/3~21/3は親会社株主に帰属する四半期純利益となります。

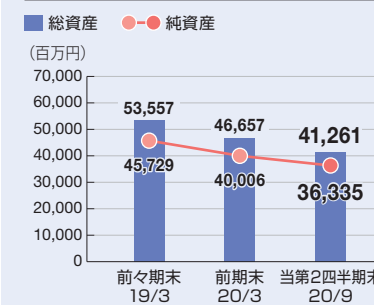
2021年3月期販売台数 (パチンコ・パチスロ遊技機合計)

上半期実績 16,600 台
通期計画 65,000 台

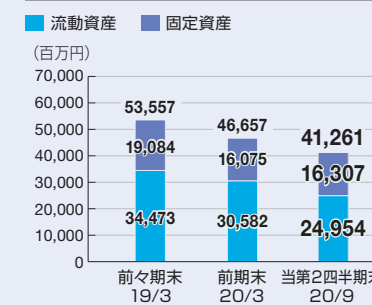
上半期の主な取り組み

厳しい市場環境のもと、新システム「遊タイム」を搭載したパチンコ遊技機2タイトルを市場投入し、販売台数の確保に努めました。

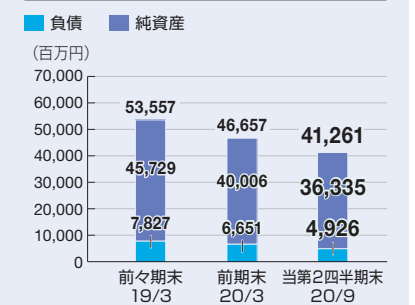
総資産/純資産



資産合計



負債純資産合計



*2019年3月期第2四半期より連結決算に移行しております。

MAIN LINE UP

上半期の主な発売機種



Pリング 呪いの7日間2

2020年4月発売

呪いの7日間復活! 100%STの王道!!これこそリング! 遂に原点回帰へ!

© 1998「Pリング」「らせん」製作委員会



P遠山の金さん2 遠山桜と華の密偵

2020年7月発売

遊タイムを搭載! 通常時760回転消化で971回の時短突入! 通常大当たりでも時短が100 or 200 or 300回付いてくる! 金さんが悪事を裁く最強の実写SP!!

© 東映

最強のS級コンテンツ、ついに現る。とあるシリーズ、始動—

Pとある魔術の禁書目録

藤商事が放つ最新作「Pとある魔術の禁書目録」は、ライトノベル史上、シリーズ総売上数歴代1位の超S級コンテンツ「とある魔術の禁書目録」をモチーフにし、ST突入率100%・ST継続率約79%に加え、最大出玉1,500発の大当たり比率が70%という王道スペックになっており、パチンコ初心者から既存のパチンコユーザーまで幅広くお楽しみいただける仕様になっております。



2020年10月発売

©鎌池和馬/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX ©鎌池和馬/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX MOVIE
 ©鎌池和馬/アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX II ©2017 鎌池和馬/KADOKAWA アスキー・メディアワークス/PROJECT-INDEX III

会社概要・株式の状況(2020年9月30日現在)

会社概要

設立 1966年10月1日
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号
 従業員数 467名
 事業内容 遊技機(パチンコ・パチスロ機)の開発・製造・販売
 デジタルコンテンツの企画・開発・販売・配信
 連結子会社 株式会社JFJ・株式会社ミラクル・株式会社オレンジ

役員

代表取締役会長 松元邦夫
 代表取締役副会長 松元正夫
 代表取締役社長 井上孝司
 取締役 米田勝己
 取締役 今山武成
 取締役 當仲秀人
 取締役 松信智人
 取締役 坪本浩一郎
 常務取締役 水嶋延和
 常勤監査役 上垣内崇夫
 監査役 川島育也

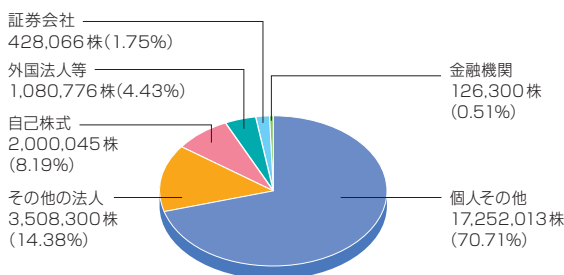
事業所

名古屋事業所(名古屋工場および開発部)
 東京開発事業所
 仙台支店 高崎営業所
 埼玉支店 千葉営業所
 東京支店 横浜営業所
 名古屋支店 静岡営業所
 大阪支店 金沢営業所
 広島支店 神戸営業所
 福岡支店 高松営業所
 札幌営業所 熊本営業所
 青森営業所 鹿児島営業所

株式の状況

- 1) 発行可能株式総数 80,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 24,395,500株
- 3) 株主数 7,843名

所有者別株主分布



4) 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松元 邦夫	5,656,000	25.25
松元 正夫	5,562,600	24.83
株式会社松元ホールディングス	2,900,000	12.94
松元 香揚子	700,000	3.12
藤商事従業員持株会	309,900	1.38
サン電子株式会社	290,800	1.29
松元 恵子	260,000	1.16
SMBC日興証券株式会社	190,700	0.85
ティーツー・キャピタル株式会社	120,000	0.53
JPモルガン証券株式会社	114,800	0.51

(注) 1. 当社は、自己株式を2,000,045株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 その他必要がある時は、予め公告して定めた日
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 事務所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 ☎0120-782-031
 ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 公告方法 当社のホームページに掲載致します。(https://www.fujimarukun.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載致します。